

新製品

プラズマチューブ

大気圧プラズマによる、粉粒体・液体の連続処理が可能に !!

大気圧バリア放電による強力なプラズマで、プラズマ処理が行えます。

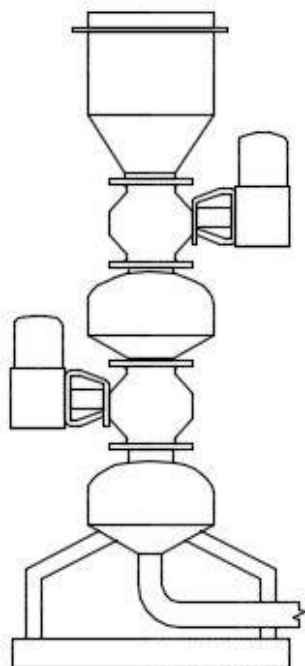
概要

- プロセスプラズマは、粉粒体・液体の各種処理素材に対して、大気圧下での希ガス大気圧バリア放電による、強力なプラズマを用いた、プラズマ連続処理が行えるシステムです。
- 真空装置を必要としないため、イニシャルコストとランニングコストの低コスト化が図れます。
- プロセスプラズマは、通常の粉体処理と同様の操作でプラズマ処理が行えるので、プラズマ処理の応用範囲が広がります。

プラズマチューブPT（チューブ内プラズマ処理方式）

特長

- ・ チューブ内でプラズマを生成します。
- ・ ガス輸送装置で粉体を供給しながら、輸送と同時にプラズマ処理が行えます。
- ・ ガス輸送装置の粉体供給原理は、高濃度プラグ空気輸送と同じです。
- ・ チューブの電極位置を変えることで、任意の位置でプラズマ生成が行えます。
- ・ プラズマ処理後の処理物は容器で回収できます。
- ・ プラズマ処理対象物は、ガス輸送装置供給では粉粒体、ポンプ供給では液体の各種素材から選択できます。
- ・ 卓上でのプラズマ処理が行えます。



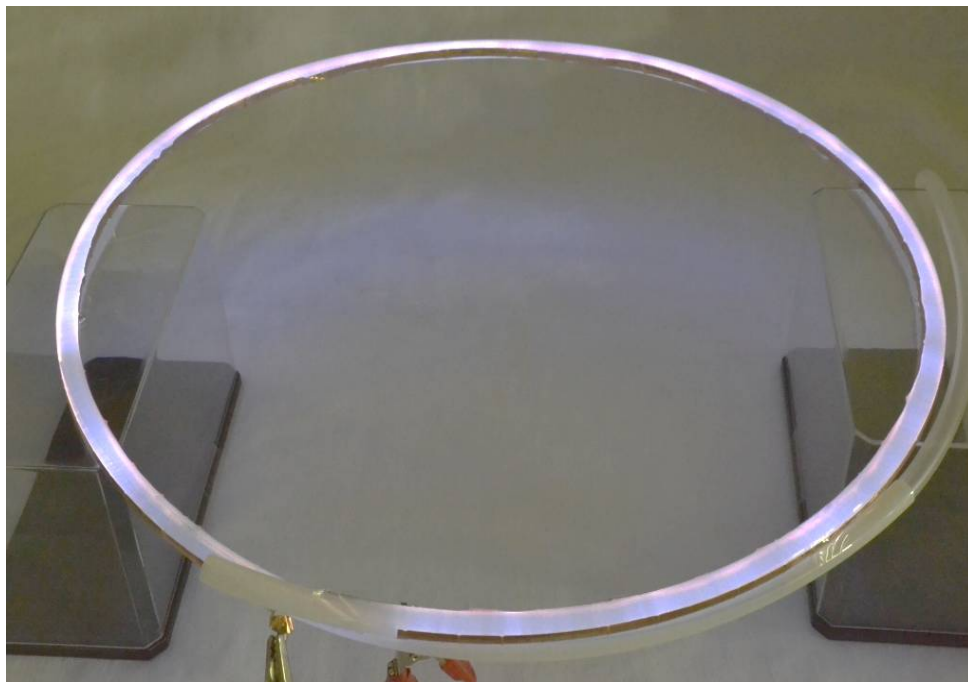
ガス輸送装置



水平平行電極プラズマループチューブ

プラズマ生成

- ・ 高濃度プラグ輸送機構と能力は、そのまま継承しています。
- ・ 輸送チューブ、輸送パイプ内でプラズマを生成します。
- ・ 電極は輸送チューブ、輸送パイプの外面に平行または螺旋状に巻き付けて給電をします。
- ・ プラズマの生成位置は、電極の位置を変えることで任意の位置にプラズマを生成できます。
- ・ 移送と同時に、プラズマ処理が行えます。



ループチューブ内生成プラズマ(内径8mm)



プラズマチューブ拡大写真

プラズマチューブPP(パイプタイプ:パイプ内プラズマ処理方式)



垂直平行電極プラズマチューブ(パイプタイプ)



パイプ内生成プラズマ(内径20mm)

使用方法

- ・ 標準電源でプラズマが生成できるチューブ、またはパイプの長さを1ユニットとして構成します。ユニットを連結することにより処理時間の制限がなくなり、希望する効果が得られるまでプラズマ処理が行えます。
- ・ 使用法は通常の高濃度プラグ空気輸送装置と同じです。
- ・ チューブ、パイプの外部電極は、機器および装置構成に合わせて絶縁物カバーで覆い、安全性を高めた構成で用います。

※仕様は品質改善のため予告なしに改訂することがあります。



プラズマパイプ断面写真

アルファ株式会社

〒487-0034

愛知県春日井市白山町6丁目6-8

TEL:0568-53-5611 FAX:0568-53-5612

代理店